

2023 ClassNK 秋季技術セミナー プログラム

受付(9:30~10:00)・開会挨拶

規則改正等の解説

2023年に行いました規則改正(予定を含む)のうち主要なものについて、機関・電気設備・材料、艙装及び船体の3つの分野に分けてその概要を解説すると共に、今後予定している主な規則改正を紹介致します。

規則制定改廃の概要

鋼船規則等の改正概要(機関・電気設備・材料関連)

(主な紹介内容)

- 海水潤滑式プロペラ軸及び船尾管軸の検査方法の代替措置
- 船級符号への付記
- 鋳鋼品及び鍛鋼品に係る IACS 統一規則の取入れ

鋼船規則等の改正概要(艙装関連)

(主な紹介内容)

- ドライケミカル粉末消火装置のガイドラインの改正
- LED 水密電気灯の使用の明確化
- GMDSS 関連機器の改正
- 係留設備の配置, 選定, 点検及び保守

鋼船規則等の改正概要(船体関連)

(主な紹介内容)

- 定期検査における板厚計測
- スロッシングに関する要件
- 洋上風力発電設備支援船
- ESP コードの改正

昼休憩(12:30~13:30)

※申し込みの際に「昼食の申し込み」をされている方には昼食を用意しております。

技術トピックス

国際海運からの GHG 排出削減に関する最新動向

2023年 IMO GHG 削減戦略に関する考察, EU 排出量取引制度(EU-ETS)及び FuelEU Maritime などの欧州地域規制に関する最新動向について紹介致します。

サイバーセキュリティ(UR E27, E26)に関する本会の取り組み

舶用システムの急速な技術進歩によって、船舶のサイバーセキュリティの重要性が高まりつつある中で、2つの IACS 統一規則(UR E26, E27)の適用が近づいています。これらに対応するべく、本会ではサイバーセキュリティに関する数々の取り組みを進めております。今回は、新たな取り組みのひとつである UR E27 に関するガイダンスを中心に、最新の情報や国際的な動向を含め紹介致します。

電気自動車安全輸送ガイドラインについて

近年、電気自動車の輸送機会が増加傾向にあり、火災が発生した場合に鎮火が困難であることや再発火のリスクがある事が指摘されています。IMO 等において安全規制の審議が開始されましたが、それに先立って火災安全対策を講じる事は重要な課題となっています。これらの自主対策を支援するため、本会は8月にガイドラインを公表しました。今回の講演では、IMO 等の審議動向も含め、電気自動車火災の特徴とその火災対策に関するガイドラインの概要について紹介致します。

コンテナ船の安全運航支援に関する取り組み

コンテナ船による海上コンテナ輸送は世界の物流の大動脈の一つとなっています。本会ではコンテナ船の安全かつ経済的な運航をサポートするべく、様々な取り組みを行っています。中でも、今年発行したコンテナの積付け及び固縛に関するガイドライン(第3.1版)及びパラメトリックロール対策のためのガイドラインはコンテナ船の積み付け量の最適化を図りつつ、予期しない大動揺を回避する方法を提供しています。今回の講演では、これらのガイドラインの概要及び対応するノーテーションを紹介致します。

国際条約等の動向

IMO 第107回海上安全委員会(MSC 107, 本年6月)及びIMO 第80回海洋環境保護委員会(MEPC 80, 本年7月)の審議結果の他、IMO 小委員会の審議結果等を交え、本年6月に発効要件を満たしたシップリサイクル条約の紹介を含む最新の動向を紹介致します。

閉会挨拶(16:30 閉会予定)